

令和2年度 麻生区PTA家庭教育学級

講師謝礼

編

よくわかる！

家庭教育学級

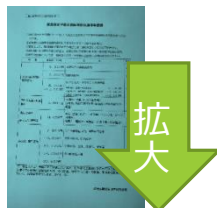
(支払いマニュアル)

金額の

計算は？

【手順1】講師謝礼の額を決める

「04 講師謝礼の
標準単価表」を参照



6,000円	生活・技術（料理・工作指導）・レクリエーション 指導者等 保育士・看護師・栄養士・介護士等（有資格者）	E
--------	---	---

①市費を使う

- ・食育協会から来てもらう講師
↓
生活・技術系の指導者

計算例
(法人)

$$6,000\text{円 (標準単価)} \times 2\text{h (講演時間)} = 12,000\text{円}$$

(消費税10%足して、13,200円)

※市費利用で基準額をオーバーしそうな場合は、様式2号を書き上げる前に市民館へ相談を。

様式3号

の記入

【手順2-1】個人払いの計算方法

計算例 (法人)

6,000円（標準単価）×2h（講演時間）＝12,000円

消費税10%を加え13,200円－源泉1,225円＝11,975円

	①謝礼単価(時間)	②時間数	③謝礼額(①×②)	④消費税(③×0.1)	⑤源泉徴収所得税額及び復興特別所得税(③×0.1021)
	6,000円	2 時間	12,000円	1,200円	▲1,225円
謝礼額	口座振込額	【口座振込額について】			
	<u>11,975円</u>	① 講師を反復、継続して行っている方 ③+④-⑤ 消費税を課税し、源泉徴収等を行った金額 ② 市民講師など講師を反復、継続しては行っていない方 ③-⑤ 消費税を課税せず、源泉徴収等を行った金額 ③ 法人 ③+④ 消費税を課税し、源泉徴収等を行わない金額			

様式3号

の記入

【手順2-2】法人払いの計算方法

計算例
(法人)

6,000円（標準単価）×2h（講演時間）＝12,000円

（消費税10%足して、13,200円←この数字を記入）

法人側に「源泉の支払い」を頼んでおきましょう。

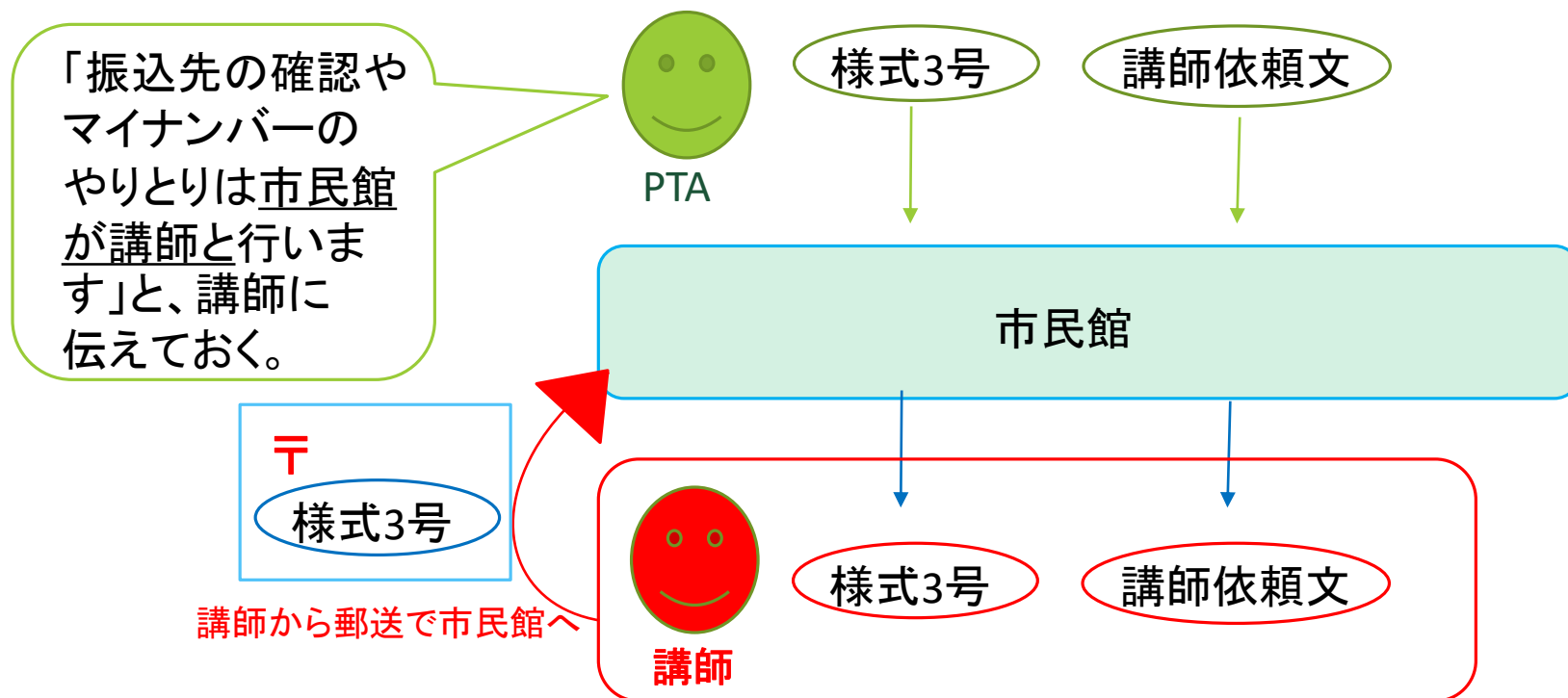
	①謝礼単価(時間)	②時間数	③謝礼額(①×②)	④消費税(③×0.1)	⑤源泉徴収所得税額及び復興特別所得税(③×0.1021)
謝礼額	6,000円	2 時間	12,000円	1,200円	記入しない
	口座振込額	【口座振込額について】			
	<u>13,200円</u>	1 講師を反復、継続して行っている方 ③+④-⑤ 消費税を課税し、源泉徴収等を行った金額 2 市民講師など講師を反復、継続しては行っていない方 ③-⑤ 消費税を課税せず、源泉徴収等を行った金額 ③ 法人 ③+④ 消費税を課税し、源泉徴収等を行わない金額			

講師に

伝える事は？

【手順3-1】様式3号と講師依頼文

市費による派遣の場合



講師に

伝える事は？

【手順3-2】様式3号と講師依頼文

PTAより講座終了のお知らせ

講座が終了した場合、中止になった場合、必ず市民館にお知らせください！



PTA

市民館



講師

「終了後、2週間をめぐりに振込があります」と講師に伝えておく

※以下は、同一講師に対して、
PTA経費+市費で支払う場合

PTA : 10,000円 → 支払者 ○○学校PTA

市費 : 20,000円 → 支払者 麻生市民館

「講師謝礼: 30,000円だが、支払いは2か所から」と講師に伝えておく